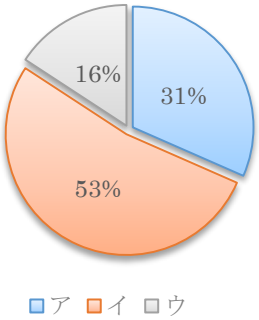
資料３（２）

卒業後の仕事と生活に関するアンケート調査　まとめ(保護者)

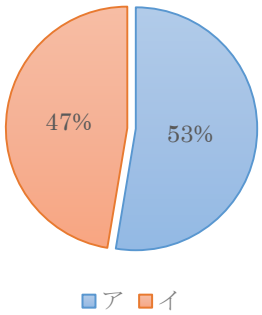
1　お子様の就労について、保護者様が感じられている状況を教えてください。

ア　順調に勤務している　・・３１％
イ　ストレスを多少感じるが、大体勤務できている・・５３％
ウ　この先勤務できるかどうか不安を感じている　・・１６％
エ　その他・・０％



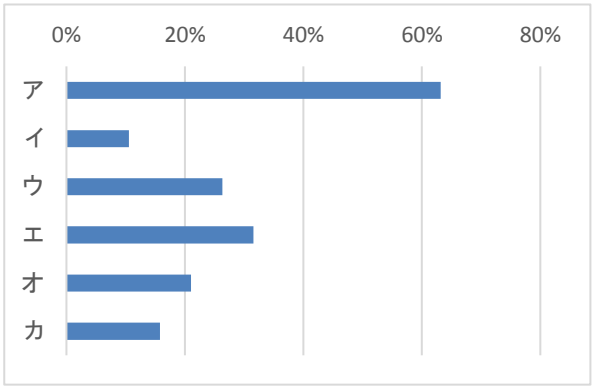
2　現在の仕事はお子様に合っていると思われますか。

ア　合っていると思う　・・５３％
イ　どちらとも言えない・・４７％
ウ　合っていないと思う・・　０％



3　就職先を決定された時、何を大切にして選ばれましたか（２つまで）。

ア 仕事の内容と本人のマッチング　・・１２人
イ 給与・休暇等・・２人
ウ 通勤距離　・・・５人
エ 障がい者対応・・８人
オ 会社の雰囲気　・・６人
カ その他・・・・・・・４人



4　職場で困っていることや、変えてほしいと思われていることはありますか。

ア　ある・・３５％

・職場内での人間関係での言葉の理解やその他
・勤務表を本人が持っていないので休みがわかりにくい。給料日が変わる。理由を知らない。
・時給をもっと上げて頂きたい。鳥取県の時給は他県に比べて低すぎるために学校からも言ってもらいたい。
・メンタルが弱く、継続して仕事場に行けない。体調の悪い時の電話ができない時がある。
・毎日、背中などが痛くて、一人我慢してがんばっていた。体調が悪いことを伝えて、迷惑

をかけたくないといっている。早く気づいてやれず、今は、湿布を貼ったりしてがんばっている。手も少し荒れてきた。ただ、その場で本当にえらい時などは、言えないと気づいてもらえないと思う。
・障がいの内容を理解し対応を変えて欲しい（指示の出し方、コミュニケーション等）

イ　ない・・６５％

・現在受けている支援が今後どのようになるのか、その場合本人はどの程度やっていけるのか、などの不安はある。
・会社での状況が今一つ不明。子どもからの話だけなので、会社の方がどう思っているのか、困っているのか不明。

5 学校時代の教育は、お子様が仕事をされる上で役立っていると思われますか。

ア　役に立っていると思う・・・・１００％

・就労に対する気持ちの持ち方、働く意識
・我慢強くなった
・ビルメンテナンスの授業
・校外実習で仕事をしてみたこと
・実習で習った体力、忍耐できたえられた
・特に実習は役立っている
・仕事になると責任感がしっかりあるようだ。寄宿舎からの通学がよかったと思う。自分のことは自分で出来るようになった。
・接客、現場実習
・学習はもちろんだが「やるべきことをやる」「素直に受け入れる」「働くこと、みんなと一緒にがんばること」などの社会や地域で生活していくために必要なスキル、気持ちを育ててもらった。
・実習、ことカフェ、専門、宿泊訓練など、すべての教科、学習が役に立っていると思う。
・職場体験があったから
・就労に向かう姿勢、現場実習での実際の現場での経験
・社会に出てからのコミュニケーション、言葉遣い、まじめに、仕事に対して前向き、急なアクシデントに対しての報告
・言葉づかい
・今は使っていないが、パソコン操作など学んだこと
・専門的に学んだことは役立つ部分があると思う
・一人でがんばろうとしている

イ　役に立っていないと思う・・０％

6 在学中にもっとお子様に力をつけさせたかったと思われる内容はありますか。

ア ある・・６７％

・自分で物事を決めきちんと言えるように、一つずつではなく、自分の考えをきちんと言えるようにしたかった
・いろいろあるが、本人は精一杯やっていたかもしれない
・働くことの意味、社会人としてのマナーとルール
・人との関係、伝える力、上司と話すことなど
・色々な作業の丁寧さや金銭感覚や金銭管理の方法
・読み書き（漢字)、計算ももう少しできるようにさせたかった。
・つけたい力はたくさんあるが、本人もできる限りがんばった。学校で先生方にたくさん相談し、その時々の対応で繰り返し教えていくことでできるようになったこともある。今後も少しずつ成長できればいいと思う。
・お金の管理について
・学力（漢字検定など積極的に受けさせておけばよかった）
・嫌な事でも少し我慢して頑張れる力、自立のための宿泊訓練。コミュニケーション。自分の気持ちを表現すること。
・どんな職種が合うのかわからず、さまざまな業種の体験が必要だった。がんばる姿勢も大事だが、今、自分のおかれている状況などを言える力が大事。

イ ない・・３３％

7 在校生の保護者に伝えたいことがあれば、自由にお書きください。

・就労することがゴールではありません。子ども一人ひとりが充実した生活を送ることだと思います。（心が充実する）学校の先生、職場の人たち、たくさんの人たちに接することで大きくなっていくと思っています。保護者もその一人ですが最大なる応援者であり理解者であり、心のよりどころになりたいと思っています。

・大人になりつつある中途半端な年頃、自分で決め、それを実行するように、今話し合っています。１８才から選挙もできるようになったし、自分で決るように、まず何事も自分で決めるように行動してもらい、その行動を見守ってほしいです。

・子どもの自主性を大切にしてあげてください。働くのは本人なので。

・ジョブコーチをつけられたほうがよかったと思う時がくると思いました。

・学校の時より話してくれることが少なく、自分の中に秘めたものがあるので、それも成長なのか？と思っています。「１８才までは、色々言うよ」と言って来たので、これからは少し見守っていく予定です。

・社会に出て仕事をすることになると慣れるまで本人も親も不安がいっぱいですが子どもが選んだ仕事をがんばれるように親はいつでも話を聞いたり出来る関係性が親と子にあるといいと思い

ます。実際うちの子が不安定になった時には、変化にすぐ気づき話を聞き対応して今は仕事をがんばっています。

・社会に出た時、子どもが「どういうことを大切にして、どのように生きていくのか」をイメージしながら、『どういう力をつけるのがいいのか』『どういう気持ちを育てていくのがいいのか』などを先生方とたくさん話をしてみてください。保護者同士のつながりの中で情報収集したり支援してくださる機関に相談してみてください。私はそういった方々のおかげで見通しを持つことができてとても助かりました。

・働き続けるということは、学校に行くより大変なことかもしれません。また、親亡き後、どうするのだろうと考えると不安はあります。情報を集めておくことや、相談できる場所を確保することは大切かなと思います。子ども自身も、親以外のおとなに相談できる人を作っておくと生活していくうえでも働いていく上でも、大事な支援者になってもらえるのでは…と感じています。

・見極めは難しいと思いますが、本人の希望や意見をしっかりと聞き確認した上で就職できる様に保護者にして頂きたいし学校もしっかりとサポートしてあげて欲しい。

・身の回りのことや礼儀など、あたり前のことをあたり前にできるようにすることが大切だと感じましたが、とても時間がかかるので早くから丁寧に取り組む必要があると思います。

・マッチングがうまくいかず、何度も実習に行きましたが、先生方とよく相談し、根気強く事業所を探した結果、よい事業所に採用してもらえました。あきらめず、がんばりましょう。

・在学中は部活や福祉関係のボランティアにも参加することで社会とのつながりがあり、人の役に立つ、人の前に出る、結果が出る等々、多くの経験が与えられたと思います。どんなことでも嫌がらずコツコツすること、真面目に取り組むことが大切だと思います。親として子どもの変化に気づくこともちろんですが、子どもの楽しみが何か、仕事のストレスがあれば早く気づいて対応する、我家は本人の状況を見て、いろいろと話しをして、一緒に楽しんだりしています。まだまだたくさん伝えたいこともありますが、子どもを信じて、先生方に相談してください。会社の方にも相談してもいいです。

・朝食を食べることの大切さを感じています（食事と食事との間があくと血糖値が下がりイライラしてしまう、NASA でも宇宙飛行士で立証しています。生活リズムを整えることが大切です）

・伝えたいことはカレンダーに記入しています（行事や予定を記入することで見通しがつきます。言葉でしつこく言うと、親子の関係が悪化してしまうので。）

・どんな職種があるか学んで、子供に適した仕事を体験することにより見つけ出す、実習が大事だと思いました。

・自動車学校に通うころ大変込み合い、思い通りの時期に取得することが難しく、夜間に通うことで、子供がつかれきったまま４月から仕事を迎えました。体調管理が大事です。

・子供の様子をよく聞いてやり、気づいてやることが大事です。職場実習の報告会には必ず参加して、職種や、作業内容など、幅広い目で見て、子どもさんの就職を考えることが必要です。

・就職して親が企業の方とお話しする機会はほとんどありません（しゃしゃり出ることもいけません)。移行支援会議が最後のようなものです。その時にしっかりと親の思いや障がいの内容、注意点などを話されてお願いされるのがいいと思います。